

令和 4 年度 第 1 回彦根市図書館協議会ふりかえり

- (1) 会長および副会長の選任について
 - ・会長に久木春次委員を選出 副会長に森將豪委員を選出

- (2) 令和 3 年度市立図書館の事業実績について
 - ・減少傾向の入館者数が、コロナ禍の令和 3 年度は 22 万人となった要因と分析、またコロナ禍前の状況と比較しての変化は
 - 資料利用者数が横ばいである中、入館者数が大きく増加した要因の一つに、コロナ禍の行動変容により、図書館に本を読みに来られる人が増えたのではないかとと思われるが、詳しい分析はできていない。
 - コロナ禍前の平成 30 年度の入館者数 156 千人、資料利用者数 103 千人と令和 3 年度を比較すると、入館者数は増加しているが資料利用者数は減少している。

- (3) 令和 4 年度市立図書館の事業計画について
 - ・コロナ禍で児童の読書熱は高まっているので、児童図書環境整備を進めてほしい。
 - ・小中学生全員にタブレットが配布されているので、図書館情報をダイレクトに閲覧できるシステムとできないか。
 - 技術的には可能と思うが、クリアすべきこともあり直ぐに答えを出せるものではない。

- (4) 令和 4 年度市立図書館の評価項目および評価指標等について
 - ・評価項目 2-②-ウ「舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数」は、文学奨励賞を休止しているため、平成 30 年度の実績から青年文学賞の応募数としている。
 - ・評価項目 1-④-イ「広報紙の掲載回数」は、複数の行事がまとめて同月の広報紙に掲載されても 1 回とすることに変更する。
 - ・評価項目 5-②-イ「図書館ボランティア数」は、読み聞かせボランティアの数だけでなく、図書館に関係するボランティア数とすることに変更する。
 - ・令和 4 年度の目標数値は、既に 5 箇月が経過しているため、令和 3 年度の実績を上回ることを目標値とすることを確認した。
 - ・令和 4 年度の評価は、令和 5 年度の協議会で行うこととし、令和 5 年度および総合計画前期基本計画に基づく令和 7 年度までの目標値等は、令和 5 年 3 月に協議会を開催し設定することを確認した。

- (5) 彦根市図書館整備基本計画の改訂について
 - ・彦根市の図書館を取り巻く状況について、現状把握と共通認識を図った。
 - ・図書館整備基本計画の改訂までのスケジュールについて確認した。
 - ・現図書館は北部館と位置付け、貴重な歴史・郷土資料、行政資料、舟橋聖一記念文庫資料などの保存管理と情報発信という役割に変更はないことを確認した。
 - ・中央館の選定用地が清崎町地先に決定したことに変更はないこと、整備は市の財政状況が好転するまで延伸されることを確認した。
 - ・次回の協議会では、データや資料を基に、中央館、地域館の機能や役割、また館体制はどうあるべきか検討を行うこととした。